

アル・アクサ洪水第490日目：トランプ大統領がガザ発言を撤回、ICC を制裁 | アブ・オベイダが声明を発表

Palestine Chronicle、2025年2月7日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



自宅の瓦礫の上に仮設テントを張って避難するパレスチナ人家族。(Photo: via QNN)

主要事項

* 国際刑事裁判所を制裁するという米国大統領令を、同裁判所が非難し、正義と人権を守るために世界の団結を呼びかけた。

* イスラエル軍は西岸地区の攻撃を続行している。ジェニン、ナブルス、トゥーバでドローン攻撃、住民の逮捕、家屋破壊を行い、家族ぐるみの強制移住を強いている。

最新情報

2月8日 4:38am (パレスチナ時間)

* 米国防総省:米務省は6億600万ドル相当のヘルファイアー・ミサイルのイスラエルへの販売を認可した。また務省は67億5000万ドル相当の弾薬と精密誘導キットのイスラエルへの販売も認可した。

* イスラエル・メディア:チャンネル12で報道された世論調査では、イスラエル人の70%が停戦合意の全段階を実施するべきと考えている。

* アクシオス:米国とイスラエルの兵器売買は、気化爆弾¹18,000個を含み、2025年に配送が始まる。3,000発のヘルファイアー・ミサイルは2028年に配送が始まる。

* トランプ米大統領:ガザ管理計画に関して現在協議はしていない。私はガザ管理を一種の不動産取引だと考えている。わが国は世界のその土地への投資家で、別に急ぐ必要はない。ガザ住人は10年間はガザに帰って欲しくない。私の計画でこの地域が安定すると思う。

¹ 空中から投下される爆発性兵器。焼夷爆弾の一種。

2月8日 2:07am

*チャンネル12:シン・ベトの長官ロネン・バールは10月7日の奇襲攻撃に関して警備機関の失策だと認めた。かれは一か月半前のガザ周辺の入植地の役人たちとの会合でそれを認め、「警備当局の失策だ。私はそれを謝罪するためにここへ来た」と言った。

*イスラエル軍ラジオ放送:イスラエル治安維持機構²は、停戦合意の一環として、明日釈放されるパレスチナ人囚人の家族に電話や戸別訪問をして、祝賀会などをしないように警告した。

*ガザ政府メディア・オフィス:12,000台の支援物資トラックガザに入ることが同意されたのに、8,500台しか許可されなかった。ガザ北部へは6,000台の救援物資トラックが合意の中で定められたのに、実際には来たのは3,000台以下だった。また要求したテント数の10%しか搬入されず、簡易移動住宅はゼロだった。さらに、燃料を運ぶトラックは1日50台と合意で決められたのに、実際にガザに入ることが許されているのは15台だけである。

*ウォールストリート・ジャーナル:停戦仲介国は、イスラエル側が停戦合意を守らず、60,000の簡易移動住宅と20,000のテントのガザ搬入を止めていると発表した。

2月7日 8:22pm

*国連の副報道官ファルハン・ハク:ガザから出て治療を受ける必要がある人々が大勢いる。おおよそ、100万人の避難民が敗れた粗末なテントの中で危険な状況で生活している。

*トランプ:ガザ計画を急いで実施する必要はない。自分の提案は和平をもたらす商業取引的なもので、慎重に扱わなければならない。

*パレスチナ囚人メディア事務所:捕虜交換合意の第一段階として、イスラエルは明日183人の囚人を釈放する。183人の中には終身刑の者18人、長期刑の者54人、10月7日以後にガザで捕まった者111人が含まれる。

*ICC(国際刑事裁判所)赤根智子所長:米国のICC制裁は独立かつ公平な司法活動の妨害で、何百万人の被害者に対する正義を否定するものとして、深い憂慮を表明する。ICCは今後も法による支配を継続し、その独立性を妨害したり、その機能を政治的に利用することに反対する。

*アル・カッサム旅団報道官アブ・オベイダ:我々は2月8日に次のイスラエル人質を釈放する。エリヤフ・ダトスン・ヨセフ・シャラビ、アブラハム・レシャフ・レヴィ、オハド・ベン・アミ。

*ヨルダン国王アブドゥッラー2世:ヨルダン他国領土の併合やガザからのパレスチナ人移住に反対する。私はガザ停戦の維持、人道的援助の増加、西岸地区の緊張を緩和することを強く望む。

*ネタニヤフ首相:ネタニヤフは米国下院のマイク・ジョンソン議長と一緒に記者会見し、その中で、イランに核兵器を持たせないようにし、ハマスを壊滅することを話した。彼は、ハマスがガザを統治している限り中東に平和な未来はないと主張した。

*イスラエル軍:停戦合意の一環として第99師団、第162師団、第143師団がガザに安全防衛のために再配置される。やがて行われる捕虜交換に備えて南方司令部(パダム)が安全確認を行った。

2月7日 5:42pm

*ロイター電:79カ国がICCを支持し、米国のICC制裁は国際法違反となり犯罪を野放しにするという声明を出した。79カ国はICCの独立性と中立性を損なう試みに遺憾を表明した。

*チャンネル12:イスラエルはハマスが解放する人質の名前の発表を遅らせているのは停戦合意違反だと非難した。ハマスの方は合意された救援物資のガザ搬入を制限しているのは停戦合意違反だとイスラエルを非難した。

*ハマスの報道官:ハマスは停戦合意を守っているが、イスラエルは救援物資の搬入を引き止めている。我々は停戦交渉仲介国にイスラエルに合意を守るように圧力をかけよと要望した。また、トランプのパレスチナ人強制移住計画に反対した国々に感謝する。

*チャンネル12:ハンガリーがICCとの協力を考え直すとしている。これに対し元イスラエル外務大臣のガビ・アシュケナジが「正義と主権を支持する明らかな倫理的態度」と褒めたたえた。

² 軍、法執行機関、民兵、政府機関、諜報機関から成る。

*イスラエル・ハヨム：第二段階の交渉のためにドーハへ向かうイスラエル交渉団は下位官僚の集団で重要な決断をする権限がないと伝えられる。

2月7日 3:24 pm

*イスラエル軍ラジオ放送：イスラエルの交渉団が捕虜交換の協議をするために8日か9日にドーハに向かう。

*レバノン・メディア：レバノンのジョセフ・アウン大統領は、イスラエル軍は攻撃をやめ、同意したように2月18日までにレバノンから撤退せよと、繰り返し述べている。

*ネタニヤフ：ネタニヤフは「10月7日のようなことがあったので、パレスチナ国家を認められない」と言って、ハマスが統治する領土がある限り脅威となると主張した。

*ガザ政府メディア・オフィス：イスラエルは自分が約束した停戦合意を守らない。とりわけ人道支援については約束違反をしている。合意された救援物資の10%しかガザに搬入されず、再建のための機材の搬入を止めている。我々はイスラエルが引き起こしたガザ住民の人道的に酷い状況を訴え、イスラエルが約束を守るように圧力をかけることを国際社会に要請した。

*ヒューマン・ライツ・ウォッチ (HRW)：HRW は米国の ICC 制裁は被害者のための正義を破壊するもので、米政府を戦争犯罪者の側に置くことになる。

*アル・ジャジーラ：米国の中東副使節はイスラエルはヒズボラを打倒したと主張し、ヒズボラを武装解除してレバノン政府に入れられないようにする必要があると強調した。

*チャンネル12：イスラエル国防大臣は軍情報機関トップを、トランプのガザ計画に反対する発言をしたので、叱責する命令を出した。

2月7日 12:07 pm

*アル・ジャジーラ：第6団の49人の患者と負傷者がエジプトで治療を受けるためにラファ検問所からガザを出た。停戦協定に従ってWHOがこれを監督している。停戦協定では一団50人までで、一人につき3人の付き添いが許可されている。

*ICC：我々は我々に制裁を課す米大統領令を非難する。我々は加盟国、市民社会、世界の諸国家に、正義と基本的人権擁護のために団結するよう要請する。

*アル・ジャジーラ：情報によれば、イスラエル無人機がジェニン難民キャンプの西の入り口を攻撃した。イスラエル占領軍の西岸地区北部への攻撃は18日間途切れなく続いている。襲撃、逮捕、家屋破壊、強制追い出しなどの軍事行動を行い、報道記者や医療チームの活動を妨害している。

*チャンネル12：明日の捕虜交換を控えハマスが解放する人質の名前を発表しない可能性があるのでは、と心配の声がイスラエル内に高まっているイスラエルは、トランプ大統領のガザ所有発言を受けて、ハマスがリストを提出するかどうか、合意履行を試すものとみている。明日の5回目の捕虜交換が実施されれば、イスラエル軍はネツァリム回廊から完全撤退することになる。

*アル・ジャジーラ：情報によれば、イスラエル無人機が西岸地区北部トゥーバの南方にある町タムーンに爆弾を落とした。

*アル・ジャジーラ：欧州理事会議長は、ICC制裁はICCの独立性を脅かし、国際司法制度を壊すと述べた。その数時間前に、ドナルド・トランプがイスラエル首相ネタニヤフと元国防大臣ヨアブ・ガラントへのICCの逮捕状発行を非難して、ICCを制裁する大統領令に署名したと、ホワイトハウスが発表した。

*イエディオト・アハロト：極秘会議でイスラエル軍高官たちがトランプのガザ住民強制移住計画の実行可能性に疑念を表明した。軍高官たちはこれ以上イスラエルに対する戦争犯罪非難を招かずにガザ問題を解決することを希望した。彼らはハマスのガザ統治が続き、住民の強制移住は困難だと考えている。トランプ計画はガザ住民が移住を望み、受け入れる国があれば実現するが、そんなことはあり得ないと、軍高官が言った。

*ネタニヤフ首相：ICCに対する勇敢な大統領令をありがとう、トランプ大統領。大統領令は腐敗した反米・反イスラエルのICCに対し米国とイスラエルを守るものだ。ICCには我々に法律戦争を仕掛ける権限も根拠もない。ICCは試験的な反米運動としてイスラエルへの攻撃を仕掛けたのだ。だから大統領令は米国とイスラエルの主権と勇敢な兵士たちの尊厳を守るものだ。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ人のネット・プラットフォームは、イスラエル軍の激しい軍事行動の中で、トウバの南のアル・ファラア難民キャンプの数家族がやむなく家から出て行く映像を流した。地区情報によると、イスラエル占領軍は住民を追い出して、その家を軍の兵舎に使っている。

*アル・ジャジーラ：ニューヨークタイムズが情報筋の話として、ガザに関するトランプ発言はホワイトハウスと政府の高官の間にもショックを引き起こしていることを報道した。それが実現可能かどうかを検討する会議も計画もないと情報筋は言っている。

*アル・クッズ旅団ジェニン大隊：我々の戦士がジェニンの西の町シラット・アル・ハリティヤの入口でイスラエル軍車両を仕掛け爆弾で破壊した。